

会計名 一般会計			土方重巳展開催事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	美術館	
10	6	8					担当係	市民活動部	
								美術館	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	戦前戦後にかけて、芸術性に富んだグラフィックデザインを手がけた土方重巳（1915年～1986年）の仕事を紹介することで、美術に対する理解・親しみを深める機会とし、芸術文化の高揚を図る。			主たる内容	「おかあさんといっしょ」に登場するキャラクターや製菓会社の「サトちゃん」のデザインなど、土方重巳の幅広い仕事を、貴重な原画やポスター、映像などで辿る。 ○会期 平成31年4月20日～令和元年6月2日（39日間） ○会場 全館 ○入場料 一般当日900円・前売700円 学生当日700円・前売500円			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	令和元年度 ～ 令和元年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 計画 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		—		—		・ワークショップ 2回 ・ギャラリートーク 2回 ・講演会 1回 ・親子無料デー 1回 ・人形劇 1回		—	
成果		・ワークショップでは、大人向けのものも実施し、なつかしながら楽しむことができる機会を提供した。 ・人形劇を開催し、気軽に楽しみながら芸術に触れる機会を提供した。							
課題		知名度がそれほど高くなかったため、来館者数があまり伸びなかった。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標	入場者数（人）		—	—	5,436	—	—		
活動指標	入場者アンケートの満足度（％）		—	—	80.9	—	—		
他市との比較検証	展示会の巡回地の会期・入場者数…西宮美術館：平成30年10月6日（土）～12月9日（日）・7,242人								
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	11,667	0	合計	11,667,190 円	
	財源	特定財源	0	0	3,652	0	賃金	1,744,980 円	
		一般財源	0	0	8,015	0	報償費	100,000 円	
	職員人件費 ②		0	0	6,546	0	旅費	50,990 円	
	総事業費（①+②）		0	0	18,213	0	需用費	1,240,439 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称		役務費	828,405 円
元年度までの累積事業費		0		入場料		委託料	3,382,376 円		
3年度以降の事業費見込		0		冊子等頒布収入		負担金、補助及び交付金	4,320,000 円		
				講座受講料					
				イベント等参加料					

会計名			土方重巳展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	美術館
款	項	目		担当係	市民活動部
10	6	8			美術館
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	博物館法で美術館が行う事業として、実物等の資料作品を豊富に展示することが定められており、企画展開催は美術館運営上、必要性が高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	子供向けワークショップは講師に依頼するのではなく、職員で準備・運営できるものを企画し、コストの節減に取り組んだ。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	企画展のプロデュースは、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要となる。その指揮や企画展の運営は、市が主体となるのが妥当であり、第7次総合計画の施策にも位置付けられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	作品の展示のほか、展覧会関係のワークショップ等を行うことで、気軽に鑑賞することができ、創造体験の機会を提供することができた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
<ul style="list-style-type: none"> 市役所食堂と協力し、展覧会コラボメニューの提供を行い、双方での広告周知に努める。 子供だけでなく、大人も夢中になれるようなイベントや親子で楽しめるようなイベントを企画する。 					

会計名 一般会計			久野真展開催事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	美術館	
10	6	8					担当係	市民活動部	
								美術館	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	名古屋を拠点に国際的に活躍した現代美術作家、久野真（1921年～1998年）の当館所蔵品を含む代表作等を紹介する展覧会を開催し、当館コレクションを広く知ってもらおう機会とし、芸術文化の高揚を図る。			主たる内容	久野真の初期から晩年までの代表作をはじめ、アトリエに残された作品を紹介し、シンプルでありながら緊張感や躍動感ある久野作品の魅力を探る。また、素材や形の面白さに着目したワークショップを夏休みの子ども向けに開催する。 ○会期 令和元年7月23日～9月1日（36日間） ○会場 1階展示室・1階ロビー ○入場料 無料			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	令和元年度 ～ 令和元年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		_____		_____		・ワークショップ 4回 ・ギャラリートーク 3回 ・木本文平氏と庄司達氏の対談 1回		_____	
成果		・鉄や鉛、ステンレスなどの金属による絵画を、大胆に展示することで、迫力ある展示を楽しんでもらえた。 ・ワークショップでは氷や普段あまり触れることのない石膏を使うことで、より楽しく芸術にふれる機会を提供できた。							
課題		めずらしい素材でできた作品が多かったため、作品にさわってしまう子供が多く、監視や注意の仕方を再確認する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標	入場者数（人）		—		—	9,574	—	—	
活動指標	入場者アンケートの満足度（%）		—		—	84.6	—	—	
他市との比較検証	刈谷市独自の事業である。								
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	7,112	0	合計 7,111,850 円		
	財源	特定財源	0	0	10	0	賃金 929,520 円		
		一般財源	0	0	7,102	0	報償費 100,000 円		
	職員人件費 ②		0	0	4,236	0	旅費 5,100 円		
	総事業費（①+②）		0	0	11,348	0	需用費 1,493,254 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0		講座受講料					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			久野真展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	美術館
款	項	目		担当係	市民活動部
10	6	8			美術館
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	博物館法で美術館が行う事業として、実物（作品）等の資料を豊富に展示することが定められており、必要性が高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	当館単独の展示会であり、極力自前で写真やデータを整えて図録制作を行うことで、コストの削減を図った。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	展覧会の企画運営は、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要となることから、市が主体となるのが妥当であり、第7次総合計画の施策にも位置付けられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	展覧会関連ワークショップを行うことで、気軽に鑑賞することができ、創造体験の機会を提供することができた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
<ul style="list-style-type: none"> 市役所食堂と協力し展覧会コラボメニューの提供を行い、広告周知に努める。 第2次刈谷市文化振興基本計画に基づき、市内施設等との相互協力を強めていく。 					

会計名 一般会計			せなけいこ展開催事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	美術館	
10	6	8					担当係	市民活動部	
								美術館	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	「ねないこだれだ」などの作者として知られる絵本作家のせなけいこ（1932年～）の絵本作家デビュー50周年を記念し、せなけいこの仕事を紹介することで、美術に対する理解と親しみを深める機会とし、芸術文化の高揚を図る。	主たる内容	貼り絵の手法を用いたシンプルながらも独創的な絵本の原画を中心に、スケッチやデッサン等も併せて展示し、せなけいこの仕事を紹介する。 ○会期 令和元年9月21日～11月10日（44日間） ○会場 全館 ○入場料 一般当日900円・前売700円 学生当日700円・前売500円					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	博物館法					
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	令和元年度 ～ 令和元年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		—		—		・ワークショップ 1回 ・ギャラリートーク 3回 ・えほんのじかん 5回 ・幻燈上映会 3回 ・絵本セミナー 1回 ・せなけいこ寄席 1回 ・落語 1回 ・ナイトミュージアム 1回		—	
成果		・落語家によるせなけいこの絵本落語や、寄席、幻燈上映など今までにない興味を引くイベントを多数企画することで多くの方に楽しみながら芸術に触れる機会を提供できた。 ・撮影可能なスペースを多く確保し、楽しみながら鑑賞する機会を提供できた。							
課題		・来館者数が想像を上回り、職員の人手が足りず、スムーズな運営や職員体制でかなり苦慮した。 ・事前に準備したつり銭では運営が回らず、何度も両替をしなければならなかった。 ・つり銭の準備・運用方法について再度検討する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		入場者数（人）			—	—	46,559	—	—
活動指標		入場者アンケートの満足度（％）			—	—	83.8	—	—
他市との比較検証		展示会の巡回地の会期・入場者数…横須賀美術館：令和元年7月6日（土）～9月1日（日）・63,138人、阪急うめだ本店9階阪急うめだギャラリー：令和元年12月18日（水）～令和2年1月6日（月）・32,637人							
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	24,677	0	合計	24,677,313 円	
	財源	特定財源	0	0	24,677	0	賃金	3,071,760 円	
		一般財源	0	0	0	0	報償費	237,880 円	
	職員人件費 ②		0	0	7,317	0	旅費	345,560 円	
	総事業費（①+②）		0	0	31,994	0	需用費	5,357,552 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用、入場料冊子等頒布収入					
3年度以降の事業費見込		0		講座受講料 イベント等参加料					

会計名			せなけいこ展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	美術館
款	項	目		担当係	市民活動部
10	6	8			美術館
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	博物館法で美術館が行う事業として、実物（作品）等の資料を豊富に展示することが定められており、必要性が高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	寄席や落語などのイベントを多数企画したことで、より注目を集め、集客と売り上げ向上につながった。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	展覧会の企画運営は、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要となることから、市が主体となるのが妥当であり、第7次総合計画の施策にも位置付けられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	展覧会関連ワークショップを行うことで、気軽に鑑賞することができ、創造体験の機会を提供することができた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
<ul style="list-style-type: none"> 市役所食堂等と協力し展覧会コラボメニューの提供を行い、双方で広告周知に努める。 開館時間を通常より延長して行ったナイトミュージアムでは普段とちがった雰囲気が楽しめるため好評だったため、今後も興味を引くイベントを企画していく。 					

会計名			収藏品等保存管理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	6	7							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	美術作品の劣化を防ぐとともに作品の修復を行うことで、美術館収藏品や借り受けた美術品の適正な保存管理を図る。		主たる内容	美術品動産保険、収藏品の修復、収蔵庫の燻蒸及び保存環境測定に関する費用を支出する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	博物館法					
		対象者	—		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		収藏品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・1階収蔵庫燻蒸 ・収藏品の修復、額装 ・新収藏品の撮影		収藏品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・2階収蔵庫燻蒸 ・収藏品の修復、額装 ・新収藏品の撮影		収藏品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・1階収蔵庫燻蒸 ・収藏品の修復、額装 ・新収藏品の撮影		収藏品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・2階収蔵庫燻蒸 ・収藏品の修復、額装 ・新収藏品の撮影	
成果		収藏品の適切な保存を図ったほか、新しく収集した一部の作品等の額装や撮影を行い、展示の管理が可能な状態に整えることができた。							
課題		新たに収集した作品は状態のよいものばかりではないため、修復・額装は新収藏品を優先して行っており、対処できなかった作品は次年度以降の予算内で数点ずつ行っている。そのため修復・額装をはじめ、撮影を必要とする作品が大量に残っている状況である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		修復、保存措置等をした作品数（点） （写真撮影、額装等）			247	264	142	150	150
活動指標		上記のうち展示や収藏品データベース等に活用した作品数（点）			226	149	110	100	100
他市との比較検証		修復、保存措置等をした作品数（点）…高浜市やきもの里かわら美術館：43、碧南市藤井達吉現代美術館：122、豊田市美術館：40、稲沢市荻須記念美術館：34 収藏品点数（点）…高浜市やきもの里かわら美術館：4,057、碧南市藤井達吉現代美術館：1,734、豊田市美術館：3,541、稲沢市荻須記念美術館：240							
C 事業コスト		単位：千円		29年度 （決算）	30年度 （決算）	元年度 （決算）	2年度 （予算）	元年度 事業費内訳	
	事業費 ①		2,395	2,236	2,521	3,484	合計 2,521,135 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費 63,460 円		
		一般財源	2,395	2,236	2,521	3,484	委託料 2,065,275 円		
	職員人件費 ②		2,714	2,700	2,696	2,272	使用料及び賃借料 392,400 円		
	総事業費（①+②）		5,109	4,936	5,217	5,756			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0							
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			業務管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	美術館		
款	項	目					担当係	美術館		
10	6	8								
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり							
	目的	作品選定や審査等の、適正な業務管理を行い、刈谷市美術館が收藏するにふさわしい美術品を収集することで、コレクションの充実を図る。			主たる内容	刈谷市美術館美術品審査委員会の開催費用を支出する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令	刈谷市美術館美術品審査委員会及び選定委員会設置要綱							
		対象者	美術品審査委員会委員、市職員		事業期間	平成4年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 実績 O 実施V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人		
成果		刈谷市美術品審査委員会の審議を経て、美術品収集方針に沿った優れた美術作品や、貴重な資料の収集を行うことができた。								
課題		審査委員が高齢化していることもあり、後任の委員の候補者を検討する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
活動指標		審査委員会開催回数（回）			1	1	1	1	1	
活動指標		審査作品数（購入・寄贈等）（件）			62	15	106	50	50	
他市との比較検証		審査委員会開催回数（回）・審査作品数（件）…高浜市やきもの里かわら美術館：1・2、碧南市藤井達吉現代美術館：2・123、豊田市美術館：1・25、稲沢市荻須記念美術館：1・3								
C 事業 コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		455	76	653	979	合計		653,295 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	33,960 円		
		一般財源	455	76	653	979	旅費	51,740 円		
	職員人件費 ②		3,877	3,858	3,851	3,786	委託料	567,595 円		
	総事業費（①+②）		4,332	3,934	4,504	4,765				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0								
3年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			一般企画展等実施事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	美術館		
10	6	8	担当係	美術館						
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり							
	目的	常設展示を行うことで、地域の人々に刈谷市美術館の収蔵作品等を紹介し、美術に対する理解・親しみを深める機会を提供する。また、呈茶事業を行うことで、気軽に茶道に親しむ機会を提供する。				主たる内容	収蔵作品を展示する常設展を、年4回程度開催する。また、一般市民向けの個人呈茶を実施する。			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令	博物館法							
		対象者	対象者を設定せず				事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B事業実績 D実績 O A 実施V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		・第1期常設展「New Collection展」26日 ・第2期常設展「カガクの眼でみる絵画の世界」25日 ・第3期常設展「没後20年星野真吾展」40日 ・第4期常設展「絵画を愉しむ 彼方へのまなざし」34日 ・個人呈茶日数 238日		・第1期常設展「New Collection展」26日 ・第2期常設展「没後60年河目悌二展」25日 ・第3期常設展「絵画を愉しむ 食の風景」34日 ・第4期常設展「絵画を愉しむ 描かれた人びと」39日 ・個人呈茶日数 224日		・第1期常設展「西三河ゆかりの美術」32日 ・第2期常設展「すばらしき日本の美」21日 ・第3期常設展「1960-70年代のポスター」40日 ・第4期常設展「どうぶつパラダイス!!」5日 ・個人呈茶日数 145日		・第1期常設展 29日 ・第2期常設展 20日 ・第3期常設展 19日 ・第4期常設展 34日 ・第5期常設展 39日 ・個人呈茶日数 204日 （常設展展覧会名については会期数増加により省略）		
成果		・常設展は、美術と個々の収蔵作品に親しんでもらえるように、ユニークなテーマを設けて4期開催し、各展ともに好評を得ることができた。 ・個人呈茶では、市民の茶道への親しさと日本の伝統文化の振興を図ることができた。								
課題		・佐喜知庵の施設・設備・茶道具は、個人呈茶または貸切利用で毎日使用されるため、日常的な消耗・劣化が著しく、また十分な修繕や買替えが定期的に行われていないため、計画的に修繕・買換えの予算化を行うことが課題である。 ・個人呈茶事業は委託団体の高齢化により、平成31年度より実施日数を削減することとなり事業の継続性が懸念される。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
成果指標	常設展入場者数（人）				39,947	35,078	35,216	40,000	40,000	
成果指標	個人呈茶人数（人）				4,426	7,714	3,550	3,500	3,500	
他市との比較検証	常設展開催日数（日）…高浜市やきものの里かわら美術館:255、碧南市藤井達吉現代美術館:197、豊田市美術館:188、稲沢市荻須記念美術館294 常設展入場者数（人）…高浜市やきものの里かわら美術館:15,031、碧南市藤井達吉現代美術館:16,801、豊田市美術館:217,443、稲沢市荻須記念美術館:7,892									
C事業コスト	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費 ①		2,910	7,673	3,525	4,341	合計 3,525,384 円			
	財源	特定財源	1,441	2,466	1,201	1,675	旅費 7,140 円			
		一般財源	1,469	5,207	2,324	2,666	需用費 1,161,522 円			
	職員人件費 ②		4,653	4,629	5,006	4,922	役務費 425,100 円			
	総事業費（①+②）		7,563	12,302	8,531	9,263	委託料 1,906,782 円			
建設事業	全体事業費（単位：千円）			0		元年度特定財源名称				
	元年度までの累積事業費			0		冊子等頒布収入 呈茶料収入				
	3年度以降の事業費見込			0						

会計名			次期企画展開催準備事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	6	8							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	次年度以降に開催を予定している企画展について調査研究、図録作成や広報等の準備作業を行うことで、事業の円滑な実施を図る。	主たる内容	企画展開催に係る調査研究、出品作品の選定、次年度春の企画展PR用ポスター・チラシ等の印刷、発送等の準備を行う。					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		・次期企画展開催準備		・次期企画展開催準備		・次期企画展開催準備		・次期企画展開催準備	
成果		・展覧会の準備・計画を行うためには、調査研究から出品作品の選定、交渉など多大な時間と予算が必要である。 ・開催年度前から準備作業を行うことで、展覧会の充実が図ることができた。							
課題		次年度当初の春季企画展のPR方法を検討する。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
成果指標		春季企画展時のアンケート展示内容満足度（％）			98	96	80.9	95	95
成果指標		秋季企画展時のアンケート展示内容満足度（％）			95	95	83.8	95	95
他市との比較検証		次年度以降の展覧会準備にかかる予算事業名及び内容…高浜市やきもの里かわら美術館：(企画展・特別展開催準備事業)印刷費・広報費・借用費・運搬費、豊田市美術館：(企画展調査費)旅費等、稲沢市荻須記念美術館：(令和3年度特別展)旅費							
C 事業コスト		単位：千円		29年度 (決算)	30年度 (決算)	元年度 (決算)	2年度 (予算)	元年度 事業費内訳	
	事業費 ①		2,495	2,390	2,544	3,236	合計	2,543,584 円	
	財源	特定財源	0	0	222	104	旅費	778,130 円	
		一般財源	2,495	2,390	2,322	3,132	需用費	1,208,826 円	
	職員人件費 ②		5,428	5,015	5,776	5,679	役務費	292,958 円	
	総事業費 (①+②)		7,923	7,405	8,320	8,915	委託料	263,670 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0		入場料					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			参加・体験型美術教育普及事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	6	8							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	創作・発表の機会づくり						
	目的	教育普及活動を行うことで、次代を担う子どもの想像力や創造力の育成を図る。	主たる内容	企画展関連のワークショップ及び夏休み・春休み期間中等の子ども向けワークショップを開催する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
	対象者	プログラムにより個別に対象年齢を設定	事業期間	～					
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	B 事業実績 実績	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		・ワークショップ 13種16回 開催 ・参加者数 521人		・ワークショップ 9種13回 開催 ・参加者数 366人		・ワークショップ 8種10回 開催 ・参加者数 304人		・ワークショップ 10種10回 開催予定 ・予定参加者数 500人	
成果		・他機関ではできない美術館ならではの創造プログラムを提供していることから、年々市民に広まり、特に園児・小学生向けプログラムは定員の約3倍の応募が集まり、好評を得ている。 ・各プログラムともに、美術への親しみと創る喜びを体験する充実した内容で実施でき、子供たちの創造力を育成を図ることができた。							
課題		さらに多様なプログラムを提供できるように、幅広いジャンルの講師の発掘とともに、プログラムの補助スタッフ（臨時職員）の確保が課題である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		開催回数（回）		16	13	10	10	10	
成果指標		参加人数（人）		521	366	304	400	400	
他市との比較検証		ワークショップ開催数（回）・対象者…高浜市やきもの里かわら美術館：7・小学生～大人、碧南市藤井達吉現代美術館：62・3歳と保護者～大人、豊田市美術館：0、稲沢市荻須記念美術館：3・幼児～小学生							
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		542	460	594	990	合計	593,995 円	
	財源	特定財源	10	8	0	25	賃金	116,860 円	
		一般財源	532	452	594	965	報償費	430,180 円	
	職員人件費 ②		2,714	1,929	2,310	2,272	需用費	38,755 円	
	総事業費（①+②）		3,256	2,389	2,904	3,262	役務費	8,200 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0							
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			美術品等購入基金積立事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	6	8							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり						
	目的	刈谷市美術館等購入基金の運用収入金を基金へ積立てることで、基金の適切な運用を図る。			主たる内容	美術品等購入基金の利子の積立てを行う。			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	刈谷市美術品等購入基金条例					
		対象者	対象者を設定せず		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		・運用収入金を基金に積立 301,680円		・運用収入金を基金に積立 401,880円		・運用収入金を基金に積立 586,071円		・運用収入金を基金に積立 606,324円	
成果		美術品等購入基金の利子を積み立てることで基金の増額を図った。							
課題		経済状況の悪化に伴う預金利率の低下により収益効果が悪化した。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
成果指標	運用収入金（千円）			302	402	586	607	—	
指標									
他市との比較検証	購入基金の有無…高浜市やきもの里かわら美術館：無、碧南市藤井達吉現代美術館：無、豊田市美術館：無、稲沢市荻須記念美術館：有 基金額（内現金）・運用収入額（円）…稲沢市荻須記念美術館：73,545,198（同額）・25,807								
C 事業コスト	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		302	402	586	607	合計	586,071 円	
	財源	特定財源	302	402	586	607	積立金	586,071 円	
		一般財源	0	0	0	0			
	職員人件費 ②		775	772	770	757			
	総事業費（①+②）		1,077	1,174	1,356	1,364			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0		元年度特定財源名称		
元年度までの累積事業費			0		美術品等購入基金積立金利子				
3年度以降の事業費見込			0						

会計名		施設管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	美術館		
款	項					目	担当係	美術館	
10	6					7			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり						
	目的	美術館及び佐喜知庵の適正な維持管理を行い、施設の環境を最適に保つ。		主たる内容	光熱水費、施設修繕料、建物清掃委託料など美術館・佐喜知庵の施設管理に関する費用を支出する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	博物館法					
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	昭和58年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 274日		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 274日		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 264日		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 279日	
成果		施設、設備等が適切に維持管理ができ、来館者に快適な環境の提供ができた。							
課題		建設後35年を経過し、建物・設備の経年劣化が目立つ。施設の適正な維持、省エネルギーの観点からも計画的な施設・設備の更新を行うことが課題である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
成果指標		ギャラリーの展示室稼働率（％）			98.6	98.9	100	100	100
指標									
他市との比較検証		ギャラリー（貸館）の有無・展示室稼働率（％）…高浜市やきもの里かわら美術館：無、碧南市藤井達吉現代美術館：有・72.3、豊田市美術館：有・76.5、稲沢市荻須記念美術館：有・83							
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		33,518	33,581	33,094	36,090	合計	33,094,250 円	
	財源	特定財源	2,272	2,306	2,053	2,335	需用費	15,035,898 円	
		一般財源	31,246	31,275	31,041	33,755	役務費	783,653 円	
	職員人件費 ②		5,428	5,401	5,391	5,301	委託料	15,501,618 円	
	総事業費（①+②）		38,946	38,982	38,485	41,391	使用料及び賃借料	1,773,081 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0		美術館使用料 電話料実費徴収金					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			施設補修事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	美術館		
10	6	7					担当係	美術館		
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり							
	目的	美術館の施設を整備することで、来館者に快適な施設空間の提供を図る。	主たる内容	○防災設備点検不良箇所修繕 ○空調関係修繕 ○施設修繕・工事						
	位置づけ	関連計画		第2次刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO実績 実施V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
				美術館の修繕 ・茶室蛍光灯修繕 ・正面玄関傘立て修繕 ・防犯カメラシステム修繕 ・空調機器自動制御機器修繕 ・空調機冷温水二次ポンプオーバーホール修繕 ・空調機冷却水ポンプオーバーホール修繕		美術館の修繕 ・消防設備点検不良箇所修繕 ・資料室空調機取替修繕 ・空調フィルター取替修繕 ・全熱交換器フィルター取替修繕		美術館の修繕 ・防災設備点検不良箇所修繕 ・2階ロビー排煙口修繕 ・屋上機械室系統排水管漏水修繕 ・空調用自動制御器不具合修繕 ・雨水排水管洗浄修繕 ・竹垣他取替修繕 他		
成果		美術館の設備修繕は、予定されていた全ての修繕を実施し、来館者に快適な施設空間を提供できた。								
課題		施設・設備の経年劣化や補修部品の廃止等のため、建物・施設の改修、更新が必要な時期に達している。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			29年度	30年度	元年度	2年度	4年度			
成果指標		年間入館者数（人）		83,659	119,285	112,147	90,000	90,000		
活動指標										
他市との比較検証		平成31年度施設修繕額（千円）…高浜市やきものの里かわら美術館:2,431、碧南市藤井達吉現代美術館:1,833、豊田市美術館:16,625、稲沢市荻須美術館:2,868								
C事業コスト		単位：千円	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費 ①	0	1,604	2,551	5,900	合計 2,551,192 円				
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費 1,492,992 円			
		一般財源	0	1,604	2,551	5,900	工事請負費 1,058,200 円			
		職員人件費 ②	0	2,315	4,621	4,544				
		総事業費（①+②）	0	3,919	7,172	10,444				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0								
3年度以降の事業費見込		0								